

FUJIFILM

instax Pal 2™

Digital Camera

使用説明書（詳細）



- カメラの機能、仕様はファームウェアのバージョンアップにより、変更される可能性があります。
- ファームウェアをバージョンアップする方法は2通りあります。詳しくは「ファームウェアをバージョンアップする」を参照してください。（33 ページ）

目次

カメラの準備	4	いろいろな撮影 — 撮影メニュー	21
カメラをお使いになる前に	4	露出を補正する	21
ハンドストラップを取り付ける	5	顔検出機能を使う	21
角度調整用アクセサリを取り付ける	5	AF補助光を使う	22
各部の名称	6	画質を切り替えて撮影する	22
液晶モニターの表示	7	instax Animation™を撮影する	23
セレクトキー/コマンドダイヤルの使いかた	8	再生する	24
メモリーカードを使用する	8	撮影した静止画を再生する	24
メモリーカードを入れる	9	撮影したinstax Animation™を再生する	24
メモリーカードを取り出す	9	静止画/instax Animation™を削除する	26
充電する	10	1コマ削除するとき	26
充電状態の表示について	10	全コマ削除のとき	26
電源を入れる/切る	11	複数コマ削除のとき	27
バッテリー残量の確認方法	11	撮影情報を見る	28
言語と日時を設定する	12	撮影データについて	29
ペアリング設定	13	撮影データの保存先	29
撮影する	15	メモリーカードを挿入しない場合	29
撮影について	15	メモリーカードを挿入した場合	29
静止画撮影	15	静止画撮影可能枚数	29
instax Animation™撮影	15	撮影可能枚数	29
撮影時の注意	15	アプリと接続せずに撮影する場合	29
静止画を撮影する	16	撮影データの取り込み	30
AF/AEロックを使用して撮影する	17	USB Type-C接続でスマートフォンに転送 する	30
撮影設定を確認する	17	Bluetoothで転送する	31
エフェクトをつかう	18	設定メニュー	32
エフェクトを選ぶ	18	設定メニューの操作と項目	32
フレームを選ぶ	18	撮影メニュー	32
いろいろな撮影 — クイックメニュー	19	再生メニュー	33
クイックメニューを表示する	19	アプリについて	34
セルフタイマーを使用して撮影する	19	スマートフォンアプリ連携で使える機能	34
フラッシュを使用する	20	スマートフォンアプリを設定する	34
表示モードを変更する	20	その他の情報	36
		仕様	36
		このようなときは	37

安全にご使用いただくために.....	38
取扱上のお願ひ.....	38
電源仕様（Power Supply Specification）	39
Bluetooth [®] 機器使用上の注意事項	39
カメラを廃棄するときの注意.....	40
小形充電式電池のリサイクルについて	40
本機を廃棄するときは	40
アフターサービスについて	40
個人情報の取扱について.....	41

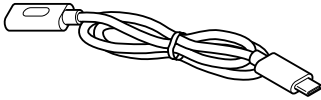
カメラの準備

カメラをお使いになる前に

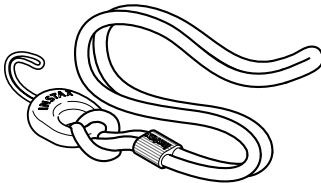
カメラをお使いになる前に、以下を確認してください。

付属品一覧

- USB Type-Cケーブル（1本）（FZ00014327-100）



- ハンドストラップ（1セット）



- 角度調整用アクセサリ（1）



- 使用説明書（1）

- ハンドストラップは手首に掛けて使用し、首には掛けないでください。

- ❶ お買い上げ直後は、充電が必要な状態です。使用前にフル充電をしてからご使用ください。
- ❷ 付属のUSB Type-CケーブルはPal 2専用です。

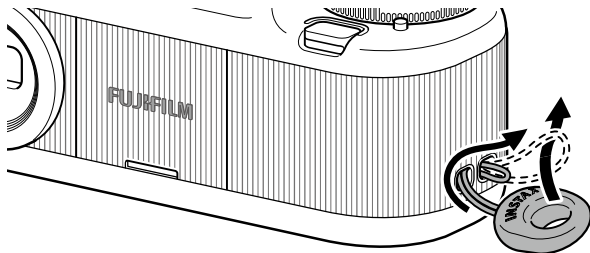
カメラを安全に使用するために、「安全にご使用いただくために」（38ページ）をお読みください。

カメラの準備

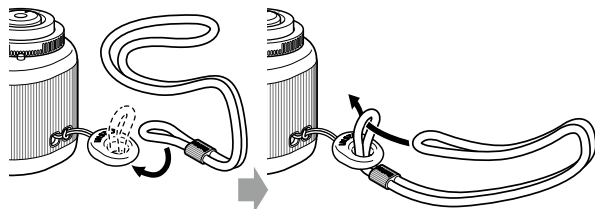
ハンドストラップを取り付ける

以下の手順でハンドストラップをカメラ本体に取り付けます。

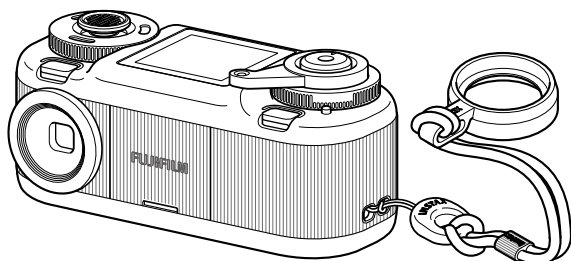
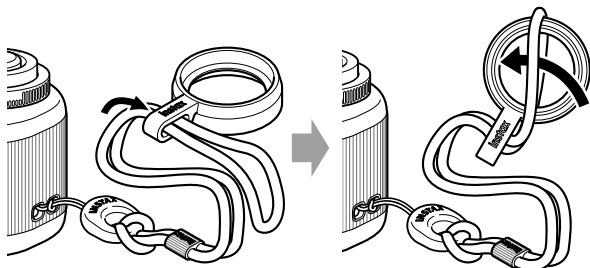
- 1 短いストラップをカメラのストラップフックの穴に通す



- 2 長いストラップを短いストラップに取り付ける



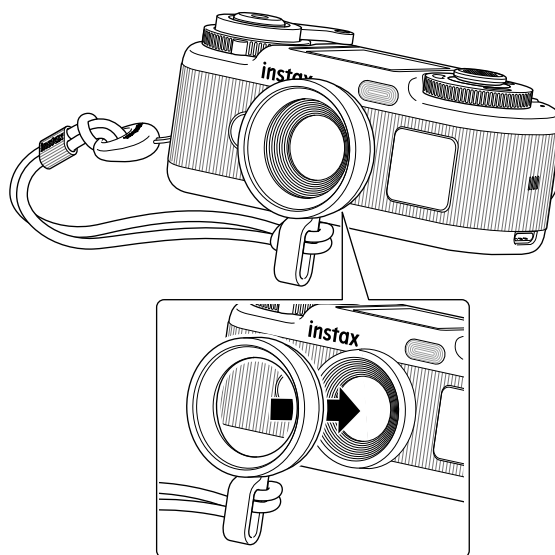
- 3 角度調整用アクセサリを長いストラップに取り付ける



角度調整用アクセサリを取り付ける

角度調整用アクセサリをカメラのレンズリングに取り付けると、撮影時の角度を調整することができます。

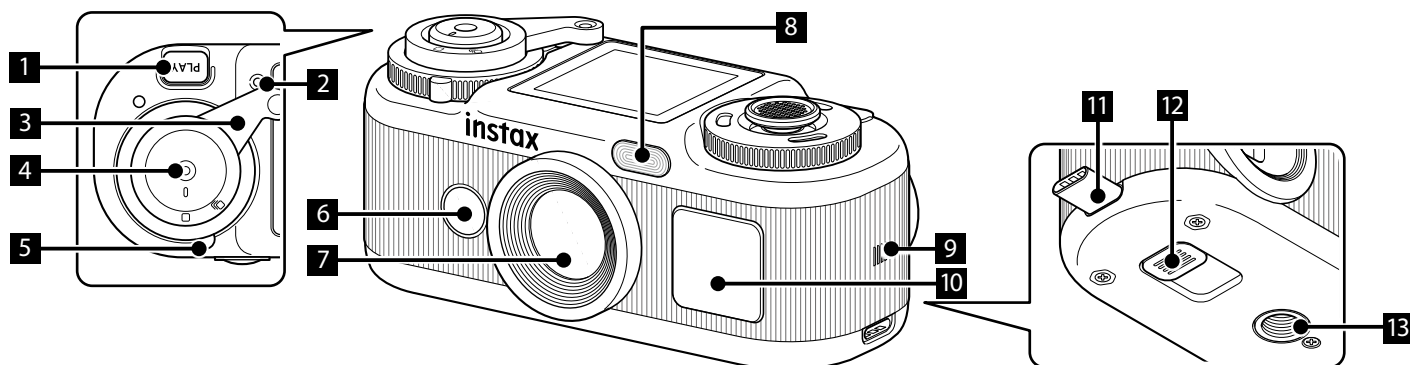
- 1 角度調整用アクセサリをレンズリングに取り付ける



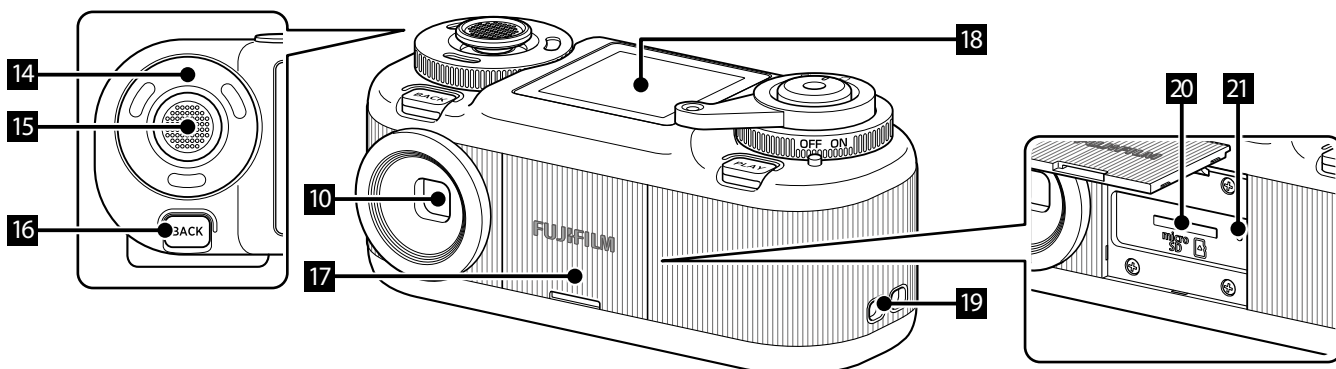
カメラの準備

各部の名称

前面



背面



1 再生ボタン

静止画 / instax Animation™を液晶モニターで再生できます。シャッターボタンを全押しすると撮影画面に戻ります。

2 電源ランプ

電源をオンにすると点灯します。

3 レバー

撮影画面で右方向へ回すと、フレーム（mini/SQUARE/WIDE/フレームなし）を変更できます。液晶モニター方向へ回すと、instax Animation™撮影モードに切り替えられます。

※instax Animation™撮影モードについては23ページの「instax Animation™を撮影する」をご確認ください。

4 シャッターボタン

構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。ピントが合ったことを確認したら、そのまま全押ししてシャッターを切ります。

5 電源ダイヤル

電源ダイヤルを回して、電源をオンまたはオフにします。一定時間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます。カメラの電源が自動的に切れたときは、シャッターボタンを押すと電源が入ります。

6 セルフィーミラー

セルフィーミラーに被写体を写し、構図を確認して撮影できます。

7 レンズ

8 フラッシュ

設定に応じてフラッシュが発光します。

9 スピーカー

10 ファインダー

11 USB Type-C端子

画像転送・充電を行うためのUSB端子です。

12 USB Type-C端子ノブ

ノブをスライドさせることで、USB Type-C端子を出し入れることができます。

13 三脚穴

14 コマンドダイヤル

15 セレクトキー

16 戻るボタン

17 microSDカードスロット&リセットボタンカバー

18 液晶モニター

19 ストラップ穴

20 microSDカードスロット

21 リセットボタン

カメラが正常に動作しない場合に押すと、強制的に電源が切れます。カメラが正常に動作しているときに使用しないでください。撮影データが失われる場合があります。

カメラの準備

液晶モニターの表示

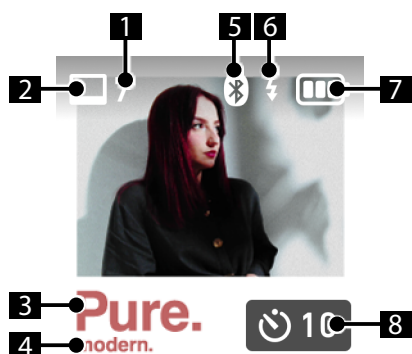
電源を入れると液晶モニターに撮影画面が表示されます。

- 撮影画面から再生画面へ切り替えるには 再生ボタンを押してください。
- 再生画面から撮影画面へ切り替えるには戻るボタン、またはシャッターボタンを押してください。

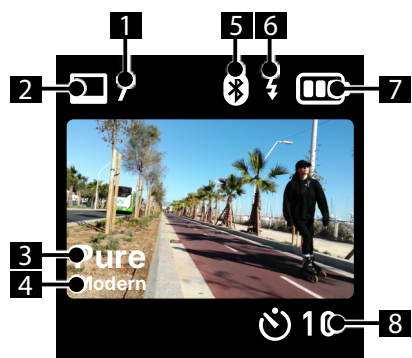
■撮影画面

液晶モニターで被写体を確認できます。撮影画面は、エフェクトモードとライブビューモードに切り替えることができます。

エフェクトモード



ライブビューモード



- 1 撮影枚数
- 2 フレーム表示
選択されているフレームを表示します。
- 3 エフェクト表示
選択されているエフェクトを表示します。
- 4 カテゴリー表示
選択されているエフェクトのカテゴリーを表示します。
- 5 Bluetooth 接続状態表示
- 6 フラッシュ
- 7 バッテリー残量表示
- 8 セルフタイマー

クイックメニュー

エフェクトモードとライブビューモードの切り替えは、クイックメニューで行います。

撮影画面で、セレクトキーを上下左右に動かして表示されるクイックメニューで選んでください。



■再生画面

撮影画面で再生ボタンを押すと、撮影済みの静止画 / instax Animation™が液晶モニターに表示されます。

フレームに合わせたレイアウトで表示されます。



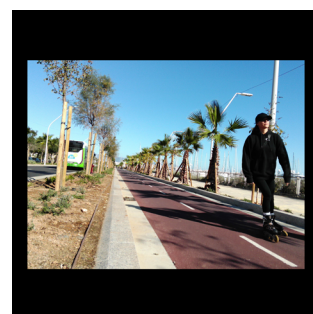
mini



SQUARE



WIDE

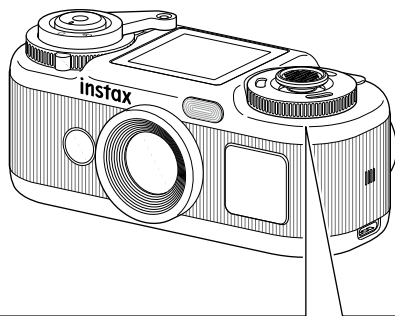


フレームなし

カメラの準備

セレクトキー/コマンドダイヤルの使いかた

セレクトキー/コマンドダイヤルでメニューの選択や項目の移動ができます。セレクトキーは上下左右に動かして、コマンドダイヤルはダイヤルを回して操作します。



上の項目に移動します

左の項目に
移動します

右の項目に
移動します

下の項目に移動します

左または上の項目
に移動します

右または下の項目
に移動します

• 露出やシャッター音量などの設定では、時計回りでプラス側、反時計回りでマイナス側へ調整します。

セレクトキーを押し
て、選択した項目を
決定します。



メモリーカードを使用する

instax Pal 2™は内蔵メモリー上に約100枚の撮影データを保存できますが、メモリーカードを使うとより多くの静止画/instax Animation™を保存できます。

メモリーカードについての注意

- このカメラに対応しているメモリーカードはmicroSDメモリーカードまたはmicroSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカード（～2TB）です。指定以外のメモリーカードをご使用になると、カメラの故障の原因になります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録/削除中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このようなときはいったん電源を切ってから、電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどにメモリーカードを入れないでください。座ったときに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間で使った後、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。

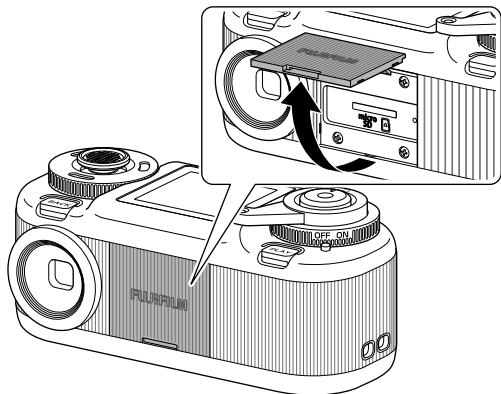
メモリーカードをPCで使用する場合の注意

- 未使用のメモリーカードや、PCやその他の機器で使ったメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。
- メモリーカードをカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。PCでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、削除などの操作を行わないでください。メモリーカードをカメラで使用できなくなることがあります。
- メモリーカード内の静止画/instax Animation™ファイルの削除はPCで行わないでください。必ずカメラで行ってください。
- 静止画/instax Animation™ファイルを編集する場合は、ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動してから編集してください。

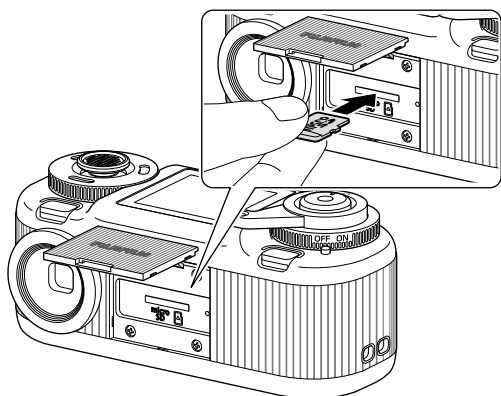
カメラの準備

メモリーカードを入れる

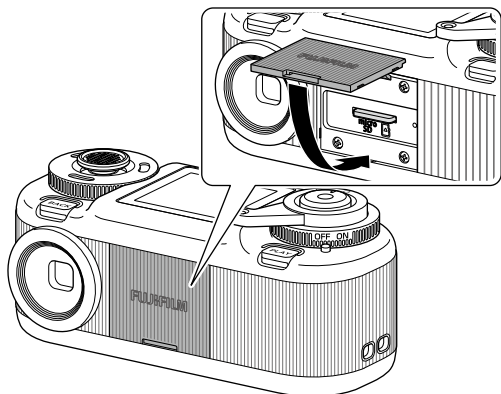
1 カードスロットカバーを開ける



2 図のように正しい向きで、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥まで差し込む

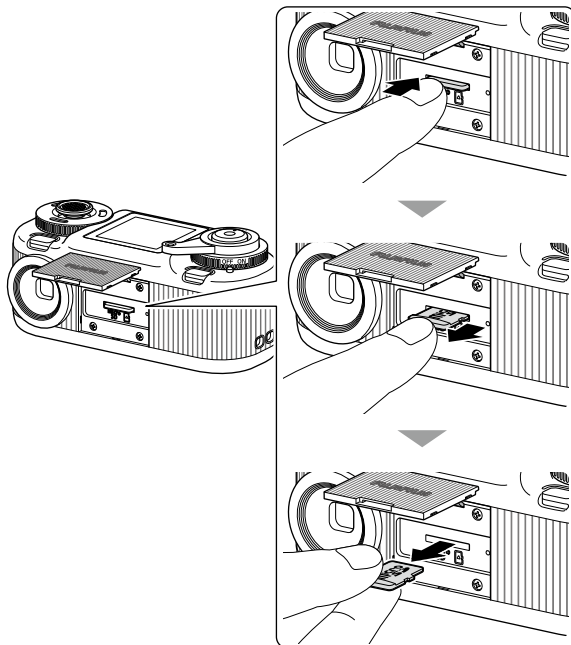


3 カードスロットカバーを閉じる



メモリーカードを取り出す

メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻してください。ロックが外れて、取り出すことができます。メモリーカードはゆっくりと取り出してください。



ご注意

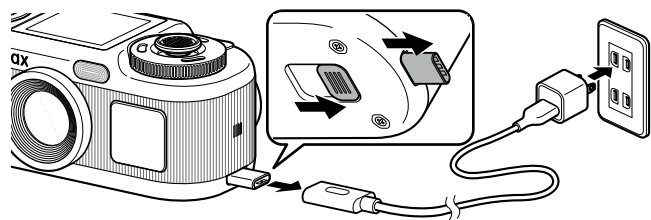
- メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。メモリーカードが手前に完全に押しだされたことを確認してから、指を離してください。
- メモリーカードの出し入れは電源オフに行ってください。電源オンの状態でメモリーカードの出し入れをすると、強制的に電源オフになります。

ご注意

メモリーカードにアプリ転送前の撮影データが残っている状態で、メモリーカードの取り出し、交換をしないでください。撮影データをアプリに移行できなくなります。なお、撮影したデータはメモリーカード内に残っているため、PCなどに転送することは可能です。

カメラの準備

充電する



カメラとUSB電源アダプタを、付属のUSB Type-Cケーブルで接続し、USB電源アダプタを屋内のコンセントにつなぎます。

- 充電時間の目安は約 2 ～ 3 時間です。
- 本機の受入電力は最小 1.5W ～最大 5.0W となっております。仕様に合った充電器をご利用ください。

充電状態の表示について

電源オン時

液晶モニターの表示	状態
	バッテリー残量表示が (充電中) になります。

電源オフ時

液晶モニターの表示	状態	バッテリーの残量
	点灯	充電が完了しました。
	点滅	残量が 60% 以下です。
	点滅	残量が 30% 以下です。

PCから充電するときは：

- USBハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとPCを接続してください。
- 充電中にPCが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、PCの休止状態（スリープ状態）を解除した後、USB Type-Cケーブルを接続し直してください。
- PCの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

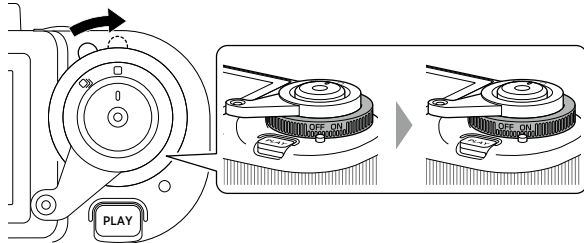
ご注意

- お買い上げ直後は、充電が必要な状態です。使用前にフル充電をしてからご使用ください。
- 充電中にメモリーカードの出し入れをすると、強制的に電源オフになります。一度USB Type-Cケーブルを抜き、再度差し込んでください。電源オンの状態で充電していた場合は、電源をオフにして、USB Type-Cケーブルを抜き差ししてから電源オンにしてください。
- バッテリーについてのご注意は「取扱上のお願ひ」を参照してください。（38ページ）

カメラの準備

電源を入れる/切る

電源ダイヤルを時計回りに回して電源をオンにします。反時計回りに回すと電源がオフになります。



ご注意

- 一定時間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます。カメラの電源が自動的に切れたときは、シャッターボタンを押すか、一度電源ダイヤルをオフにしてから再度オンにすると電源が入ります。
- 電源が切れるまでの時間は、カメラ設定の〔自動電源 OFF〕で設定できます。（32ページ）

バッテリー残量の確認方法

液晶モニターの右上にバッテリー残量が表示されます。

表示	バッテリーの残量
	残量が十分にあります。
	残量が 60% 以下です。充電することをお勧めします。
	残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。

- バッテリー残量が不足すると、液晶モニター中央にアイコン () が表示され、電源が切れます。

カメラの準備

言語と日時を設定する

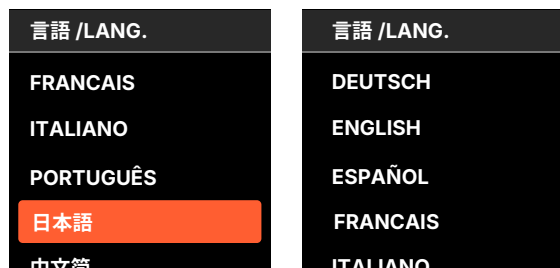
ご購入後初めて電源を入れると、使用する言語や日時を設定する画面が自動で表示されます。

この設定はあとで行うこともできます。あとで設定する場合や設定をやり直したい場合は、カメラ設定の【言語 /LANG.】、【日時設定】から行ってください。

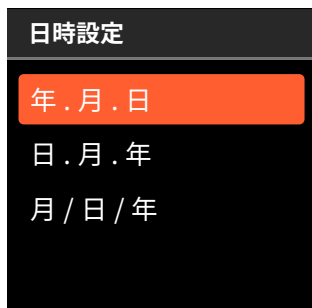
1 電源を入れる

ご購入後に初めて電源を入れたときは、言語設定画面が表示されます。

2 使用言語を設定する



3 年月日の並び順を設定する



4 年月日を設定する



5 時分を設定する



言語と日時の設定が完了します。

カメラの準備

ペアリング設定

スマートフォンアプリ「instax Pal™」と連携すると、さまざまな機能が利用できます。アプリと連携するために、スマートフォンとペアリングを行ってください。

詳しくは、34 ページの「スマートフォンアプリを設定する」を参照してください。

あらかじめ、お使いのスマートフォンのBluetooth通信ができる状態にしておいてください。

4 【ペアリング登録】を選ぶ

ペアリング登録画面が表示されます。



カメラ

1 カメラのセレクトキーを押す

設定メニューが表示されます。



2 【⚙️】を選ぶ

カメラ設定が表示されます。



3 【Bluetooth 設定】を選ぶ

Bluetooth 設定画面が表示されます。



スマートフォン

5 スマートフォンアプリ「instax Pal™」を起動する

6 スマートフォンアプリの [No connect] をタップする



カメラの準備

7 表示された画面の【接続できるカメラ】でカメラの本体名称を確認して、スマートフォンアプリの【接続】をタップする

- Androidはペア設定リクエストが通知されます。iOSではペアリングの要求メニューが表示されます。



カメラ/スマートフォン

8 カメラとスマートフォンに表示されている6桁の数字が一致していることを確認して、ペアリングを許可する

- カメラ: [OK]を選んでセレクトキーを押します。



- スマートフォン: [ペア設定する]をタップします。



- スマートフォンの機種によっては、異なる画面が表示される場合があります。

9 ペアリング登録が完了します

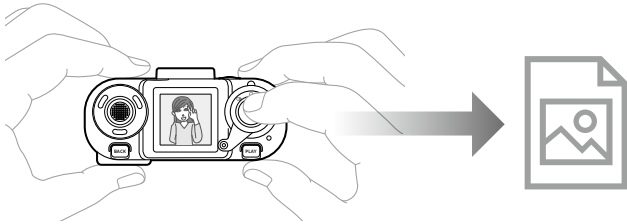
撮影する

撮影について

このカメラは、静止画と instax Animation™ を撮影することができます。

静止画撮影

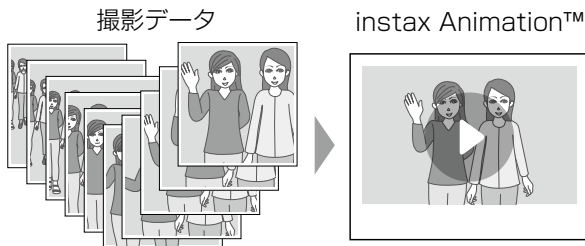
エフェクトを使って、さまざまな効果を加えた静止画を撮影できます。



instax Animation™撮影

シャッターボタンを長押しすると、最大 10 枚の連写ができます。

連写した写真は instax Animation™ として保存され、パラパラ漫画のような表現を楽しむことができます。



撮影時の注意

- 撮影するときは脇を締め、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- シャッターボタンを押すときは、カメラレンズに触れないように注意してください。
- シャッターボタンを全押しするときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。
- 指やハンドストラップがフラッシュ、レンズに掛からないように注意してください。
- 暗い場所または逆光時は、シャッターボタンを全押ししたときにフラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないように、フラッシュの設定を変更できます。20 ページの「フラッシュを使用する」をご覧ください。

内蔵メモリーについての注意

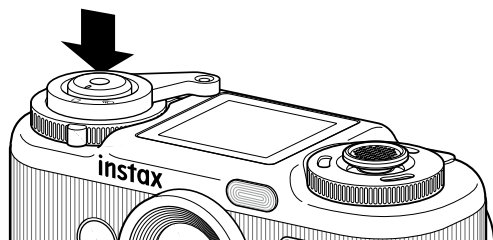
- 内蔵メモリーがいっぱいになると、シャッターが切れず、撮影ができません。静止画/instax Animation™を削除するか、メモリーカードを使用してください。
- 内蔵メモリー内の静止画/instax Animation™は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
- 大切な静止画/instax Animation™は、別途バックアップ保存されることをお勧めします。
- カメラを修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

撮影する

静止画を撮影する

基本的な静止画撮影の手順を説明します。

- 1 電源を入れる
- 2 エフェクトを選ぶ
コマンドダイヤルを回すと、エフェクトを変更できます。
- 3 フレームを選ぶ
レバーを右方向に回すと、フレーム（mini/SQUARE/WIDE/ フレームなし）を変更できます。
- 4 必要に応じてフラッシュや露出補正などを設定する
- 5 カメラを構える
- 6 構図を決める
- 7 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる



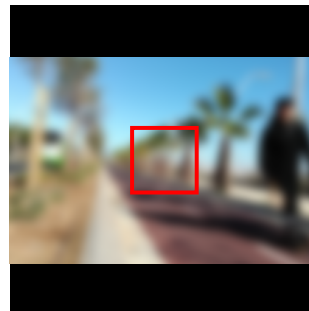
ピントが合ったとき



ピピッと音が鳴り、緑色の AF フレームが液晶モニターに表示されます。

「顔検出」が有効のときは、カメラが人物の顔を認識すると、顔の上に緑色の AF フレームが表示されます。21 ページの「顔検出機能を使う」をご覧ください。

ピントが合わないとき

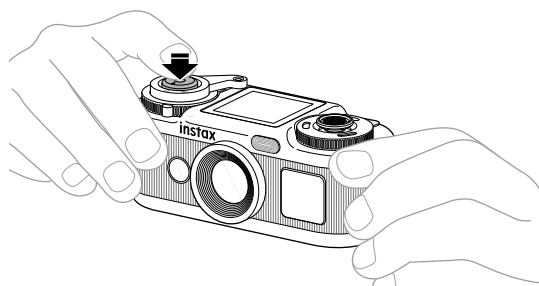


赤色の AF フレームが液晶モニターに表示されます。構図を変えるか、AF/AE ロックを使用してください。17 ページの「AF/AE ロックを使用して撮影する」をご覧ください。

撮影画面でエフェクトモードを選んでいるときは、シャッターを半押しすると画面がライブビューモードに変わります。
撮影後は、エフェクトモードに戻ります。

- 8 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

静止画が撮影され、画像が内蔵メモリーまたはメモリーカードに保存されます。



撮影する

AF/AEロックを使用して撮影する

撮影するときに、シャッターボタンを半押しし続けてピントを固定することを「AFロック」、明るさを決めて固定することを「AEロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる

シャッターボタンを半押しすると、AF と AE がロックされます。

2 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変える

3 シャッターボタンを全押しして撮影する

以下の被写体を撮影するときは、ピントが合いにくくなる場合がありますので、AF/AEロックを使用して撮影することをお勧めします。

- 鏡や車のボディなど光沢のある被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収する被写体
- 煙や炎などの実体のない被写体
- 背景との明暗差が少ない被写体（背景と同色の服を着ている人物など）
- AFフレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前後に被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

撮影設定を確認する

以下のようなときに、液晶モニターに撮影設定が表示されます。撮影設定は、3 秒後に消えます。

- 再生画面で、戻るボタンを押す
- 撮影画面で、エフェクトやフレームを変更する



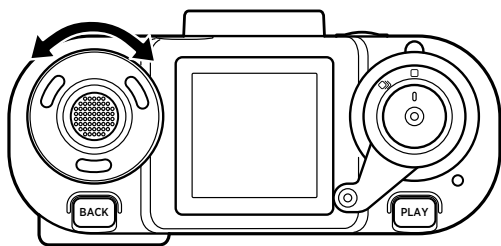
エフェクトをつかう

instax Pal 2™ では、さまざまなエフェクトやフレームを、自由に選んで撮影することができます。

エフェクトを選ぶ

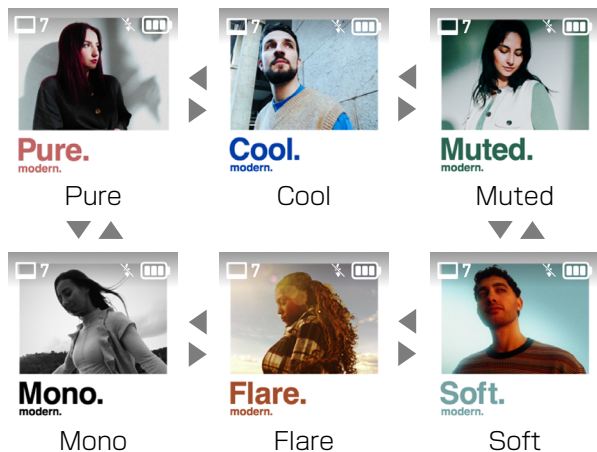
撮影時に、6種類のエフェクトを切り替えることができます。

1 撮影画面でコマンドダイヤルを回す



2 エフェクトを選ぶ

コマンドダイヤルを回す方向にあわせて、エフェクトが下記の順に変わります。



選んだエフェクトが液晶モニターに表示されます。



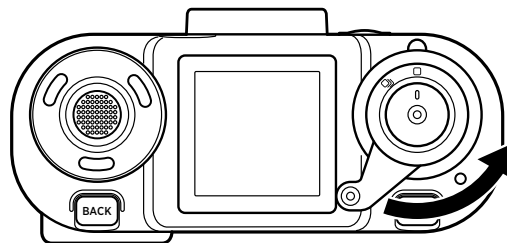
エフェクトモード ライブビューモード

- ・カメラ本体に搭載されている6つのエフェクトのセット（カテゴリー）は、[Modern] です。
- ・アプリでは、[Modern] のほかに [Y2K]、[Vintage]、[Chromatic]、[Fantasy] の4つのカテゴリーが登録されていて、最大30のエフェクトから選ぶことができます。
- ・アプリでは、お好みのエフェクトを6つまで選んで、オリジナルのカテゴリー [Custom] として登録できます。詳しくは、製品ホームページをご覧ください。

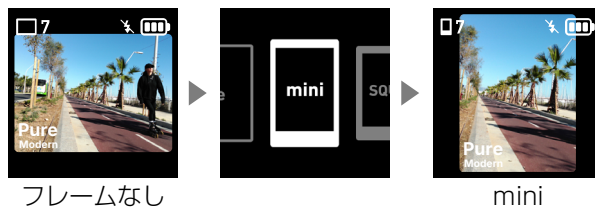
フレームを選ぶ

撮影時のフレームを4種類（フレームなしを含む）から選ぶことができます。

1 撮影画面でレバーを反時計回りに回す

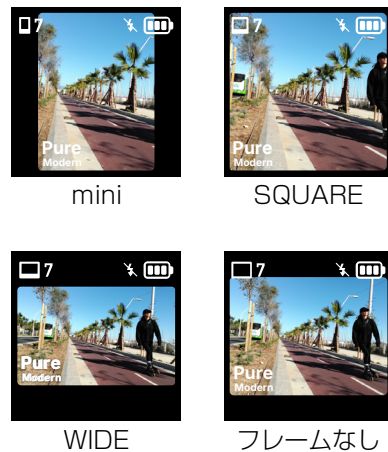


レバーを回すと、フレーム名が液晶モニターに表示され、フレームが変わります。



2 フレームを選ぶ

レバーを回すと、フレームが下記の順に変わります。



選んだフレームが、液晶モニター左上に表示されます。



エフェクトモード ライブビューモード

撮影する

いろいろな撮影 — クイックメニュー

撮影画面でセレクトキーを押してクイックメニューを表示すると、撮影方法を変更することができます。

クイックメニューを表示する

- 1 セレクトキーを上下左右に動かす
クイックメニューが表示されます。
- 2 設定したい項目を選ぶ



セルフタイマー



フラッシュ

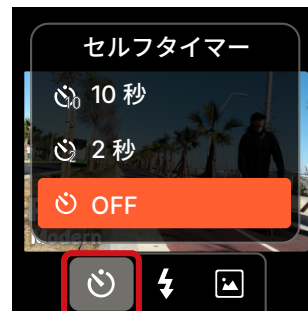


表示モード

セルフタイマーを使用して撮影する

撮影者を含めた集合写真を撮影するときや、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐために使用します。

- 1 クイックメニューで【セルフタイマー】を選ぶ
セルフタイマーのメニューが表示されます。



- 2 【10秒】または【2秒】を選ぶ
セルフタイマーを設定しない場合は【OFF】を選びます。
- 3 セレクトキーを押して、メニューを確定する
- 4 シャッターボタンを全押しして撮影する

設定した秒数をカウントダウンしたあと、撮影します。

【10秒】を選んだ場合：

シャッターボタンを押すと、フラッシュランプが点灯し、撮影の2秒前から点滅に変わります。

【2秒】を選んだ場合：

シャッターボタンを押すと、フラッシュランプが点滅します。

セルフタイマーを途中でキャンセルするには、戻るボタンを押します。

撮影する

フラッシュを使用する

夜や暗い室内などで撮影するときは、フラッシュを使用してください。フラッシュが発光しないように設定することもできます。

- 1 クイックメニューで【フラッシュ】を選ぶ
フラッシュのメニューが表示されます。



- 2 設定を選ぶ

フラッシュの設定の詳細は、以下の「フラッシュの種類」を参照してください。

- 3 セレクトキーを押して、メニューを確定する

■フラッシュの種類

⚡ オートフラッシュ

周囲が暗い場合は、自動でフラッシュが発光します。ほとんどの状況に適した設定です。

⚡ 強制発光

周囲の明るさに関わらず、フラッシュが発光します。逆光で被写体が暗くなっているときに使用します。

✖ 発光禁止

周囲が暗いときでも、フラッシュを発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。

フラッシュを使用せずに暗いところで撮影する場合は、カメラをテーブルなどに固定して撮影することをお勧めします。

表示モードを変更する

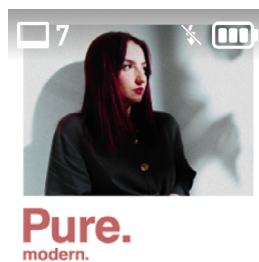
表示モードを変更することができます。

- 1 クイックメニューで【表示モード】を選ぶ
表示モードのメニューが表示されます。

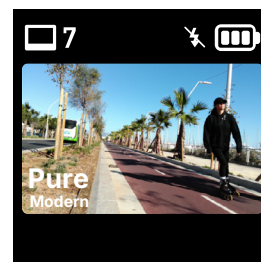


- 2 【エフェクトモード】または【ライブビューモード】を選ぶ

- 3 セレクトキーを押して、メニューを確定する
選んだモードが撮影画面に表示されます。



エフェクトモード



ライブビューモード

撮影する

いろいろな撮影 — 撮影メニュー

撮影画面でセレクトキーを押して撮影メニューを表示すると、撮影方法を変更することができます。

露出を補正する

画像の明るさを調整します。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使用します。

1 撮影メニューで「露出補正」を選ぶ

露出補正画面が表示されます。



2 露出を補正して、セレクトキーを押す



設定が反映され、撮影メニューに戻ります。

- コマンドダイヤルを時計回りに回す、またはセレクトキーを右に押すと、「+」側に露出が補正され、画像全体を明るくできます。
- コマンドダイヤルを反時計回りに回す、またはセレクトキーを左に押すと、「-」側に露出が補正され、画像全体を暗くできます。

顔検出機能を使う

顔検出機能を使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。

1 撮影メニューで「顔検出」を選ぶ

顔検出画面が表示されます。



2 設定したい項目を選び、セレクトキーを押す



設定が反映され、撮影メニューに戻ります。

撮影する

AF補助光を使う

AF補助光を使うと、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間AF補助光が発光し、暗い被写体のピントを合わせやすくします。

1 撮影メニューで【AF 補助光】を選ぶ

AF 補助光画面が表示されます。



2 設定したい項目を選び、セレクトキーを押す



設定が反映され、撮影メニューに戻ります。

- シーンによっては、AF補助光を発光してもピントが合いづらいことがあります。
- 被写体に近づいた撮影では、AF補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- 人の目に近づけて発光させないでください。

画質を切り替えて撮影する

撮影する画像のサイズを変更することができます。10MPモードにすると、3776×2832ピクセル、1MPモードにすると1280×960ピクセルの写真を撮影できます。

1 撮影メニューで【撮影画像サイズ】を選ぶ

撮影画像サイズ画面が表示されます。



2 設定したい項目を選び、セレクトキーを押す

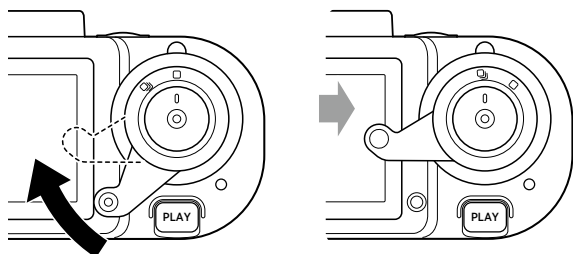


設定が反映され、撮影メニューに戻ります。

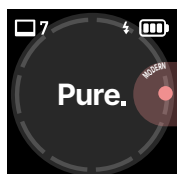
instax Animation™を撮影する

基本的なinstax Animation™撮影の手順を説明します。

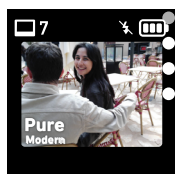
1 本体レバーで instax Animation™ モードに設定する



液晶モニターの表示が、instax Animation™モードになります。



エフェクトモード



ライブビューモード

2 エフェクトを選ぶ

コマンドダイヤルを回すと、エフェクトを変更できます。

3 フレームを選ぶ

- ・レバーを右方向に回すと、フレーム（mini/SQUARE/WIDE/ フレームなし）を変更できます。
- ・フレームを変更したときは、再度本体レバーを回して instax Animation™ モードにしてください。

4 必要に応じてフラッシュや露出補正などを設定する

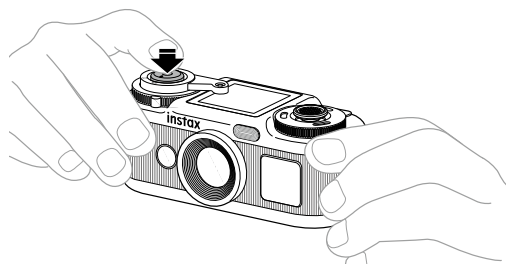
5 カメラを構える

6 構図を決める

7 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる

8 シャッターボタンを長押しする

instax Animation™ を撮影します。最大 10 枚の写真を連続で撮影します。

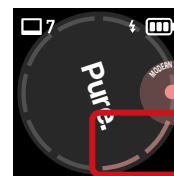


エフェクトモード

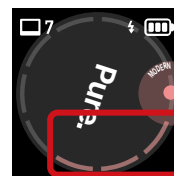
下図のように、画面に撮影枚数が表示されます。



1 枚目



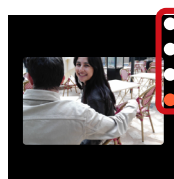
2 枚目



3 枚目

ライブビューモード

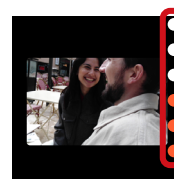
下図のように、画面に撮影枚数が表示されます。



1 枚目



2 枚目

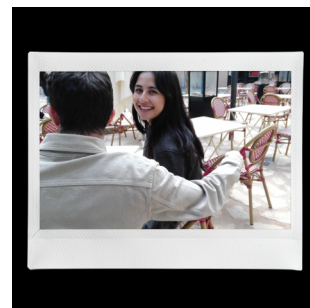


3 枚目

9 シャッターボタンから指を離す

撮影を終了します。

撮影した instax Animation™ の、1 枚目の画像が表示されます。



■撮影メニューの項目

プリント

近くにあるinstax™スマホプリンターもしくはハイブリッドインスタントカメラを検索して、プリントすることができます。セレクトキーを押したあと、表示される画面の指示に従ってください。

表示モード

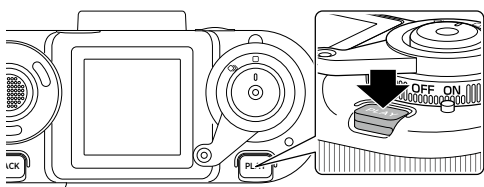
撮影中に表示する画面を変更することができます。[エフェクト] または [ライブビュー] のどちらかを選びます。

再生する

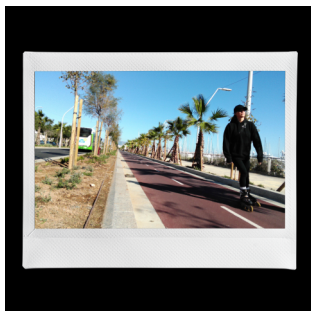
撮影した静止画を再生する

撮影した静止画を液晶モニターで再生できます。

- 1 電源を入れる
- 2 再生ボタンを押す
再生モードになります。



- 3 再生したい静止画を選ぶ
選んだ静止画が表示されます。

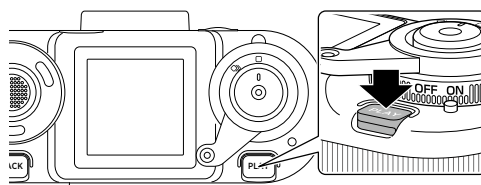


- シャッターボタンを全押しするか、戻るボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

撮影したinstax Animation™を再生する

撮影した instax Animation™ を液晶モニターで再生できます。

- 1 電源を入れる
- 2 再生ボタンを押す
再生モードになります。



- 3 再生したい instax Animation™ を選ぶ
instax Animation™ 再生が始まります。

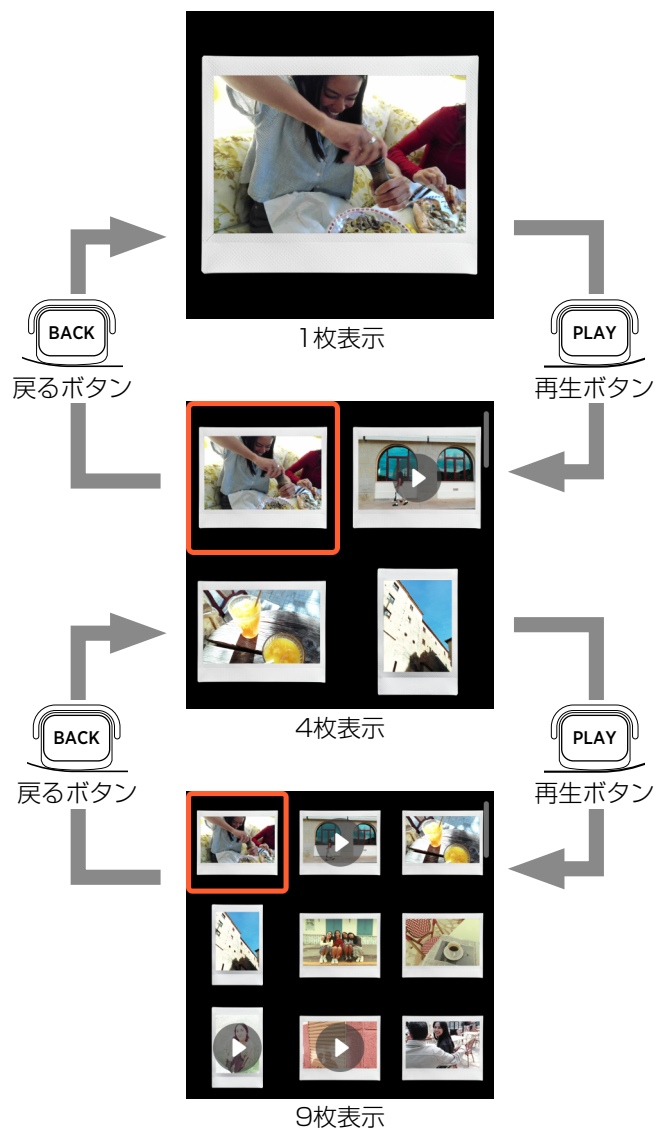
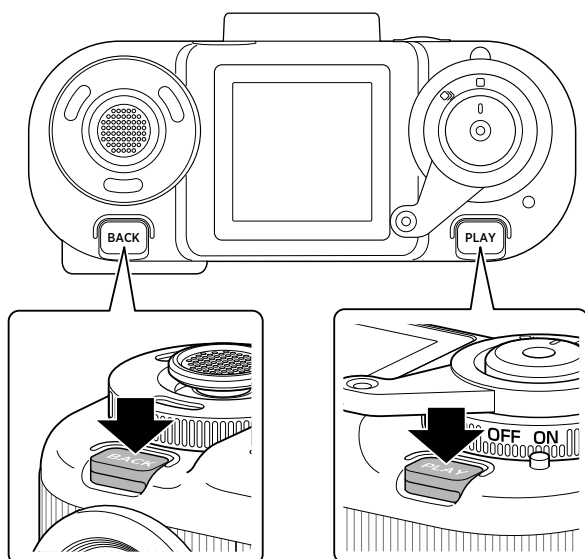


- シャッターボタンを全押しするか、戻るボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

再生する

■表示する静止画/instax Animation™のコマ数を変更する

再生画面で、静止画/instax Animation™の表示数を変更することができます。1枚表示のときに再生ボタンを押すと、4枚表示に、もう一度再生ボタンを押すと9枚表示になります。戻るボタンを押すと、元の表示に戻ります。



- 静止画/instax Animation™が撮影順に表示されます。
- 再生画面の4枚/9枚表示のとき、instax Animation™には [▶] が表示されます。

再生する

静止画/instax Animation™を削除する

不要な静止画 /instax Animation™ を削除することができます。

- 削除する写真を変更する場合は、[キャンセル] を選んでセレクトキーを押してください。
- 削除を中止するときは、戻るボタンを押してください。

1コマ削除するとき

- 1 再生ボタンを押す
- 2 セレクトキーを押す
再生メニューが表示されます。
- 3 [消去] を選ぶ

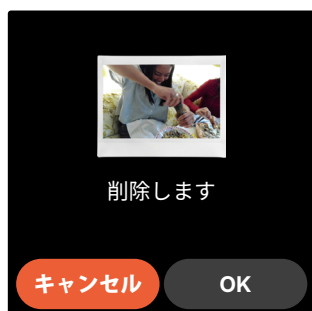


- 4 [1コマ] を選ぶ



- 5 画面の内容を確認して [OK] を選び、セレクトキーを押す

選択した静止画 /instax Animation™ が削除されます。



全コマ削除のとき

- 1 再生ボタンを押す
- 2 セレクトキーを押す
再生メニューが表示されます。
- 3 [消去] を選ぶ

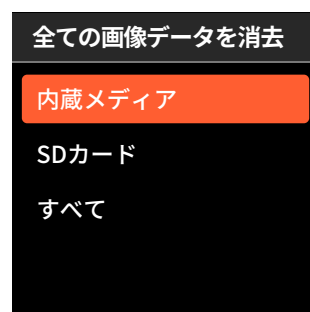


- 4 [全コマ] を選ぶ



- 5 消去するメディアを選ぶ

選択したメディアの静止画 /instax Animation™ がすべて削除されます。



[内蔵メディア]：カメラの内蔵メモリーに保存されている静止画 /instax Animation™ をすべて削除します。

[SDカード]：メモリーカードに保存されている静止画 /instax Animation™ をすべて削除します。

[すべて]：静止画 /instax Animation™ をすべて削除します。

再生する

6 画面の内容を確認して [OK] を選び、セレクトキーを押す

選択したデータが削除されます。



5 削除したい静止画 /instax Animation™ を選ぶ

静止画/instax Animation™を選んでセレクトキーを押すと、チェックマークが付きます。



6 選択が終わったら、再生ボタンを押す

7 画面の内容を確認して [OK] を選び、セレクトキーを押す

選択したデータが削除されます。



複数コマ削除のとき

1 再生ボタンを押す

2 セレクトキーを押す

再生メニューが表示されます。

3 [消去] を選ぶ



4 [複数コマ] を選ぶ

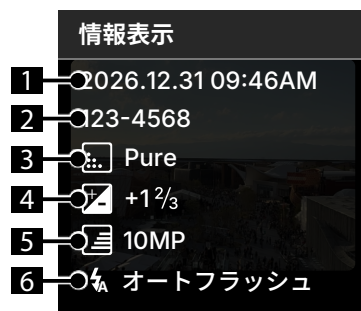


再生する

撮影情報を見る

液晶モニターに以下のような情報画面を表示することができます。[戻る] ボタンを押すと、再生メニューが表示され、もう一度[戻る] ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

- 1 再生ボタンを押す
- 2 セレクトキーを押す
再生メニューが表示されます。
- 3 [情報表示] を選び、セレクトキーを押す



- 1 撮影した日付・時刻
- 2 コマNo.
- 3 エフェクト表示
選択されているエフェクトを表示します。
- 4 露出補正
- 5 撮影画像サイズ
- 6 フラッシュ

■再生メニューの項目

プリント

近くにある instax™ スマホプリンターもしくはハイブリッドインスタントカメラを検索して、プリントすることができます。セレクトキーを押したあと、表示される画面の指示に従ってください。

撮影データについて

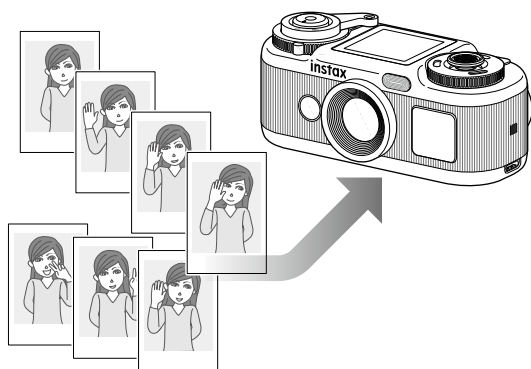
撮影データの保存先

メモリーカードの挿入あり/なしでデータの保存先が変わります。

メモリーカードを挿入しない場合

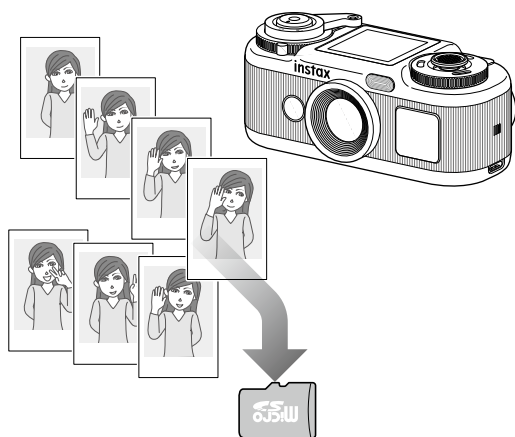
メモリーカードを挿入しないで撮影した場合、撮影データはカメラの内蔵メモリーに保存されます。

- ・内蔵メモリーの上限枚数に注意してください。



メモリーカードを挿入した場合

メモリーカード挿入時は、データはメモリーカードに保存され、カメラの内蔵メモリーには保存されません。



- ・カメラの内蔵メモリーやメモリーカードに保存した静止画/instax Animation™は、自動で削除されません。データ容量に達した場合は、PCなどにコピーするか、必要に応じて、静止画/instax Animation™を削除してください。

静止画撮影可能枚数

静止画の撮影可能枚数の目安は以下となります。

撮影可能枚数

■静止画：10MPモード

内蔵メモリー	撮影可能枚数
ピクセル	3776 × 2832
枚数	100枚

メモリーカード	撮影可能枚数
ピクセル	3776 × 2832
枚数	1GBあたり約400枚

■静止画：1MPモード

内蔵メモリー	撮影可能枚数
ピクセル	1280 × 960
枚数	100枚

メモリーカード	撮影可能枚数
ピクセル	1280 × 960
枚数	1GBあたり約3400枚

アプリと接続せずに撮影する場合

撮影データは内蔵メモリーまたはメモリーカードに保存されます。アプリに転送しない場合の撮影可能枚数は、メモリーカードのあり/なしに関わらず100枚です。



撮影データについて

撮影データの取り込み

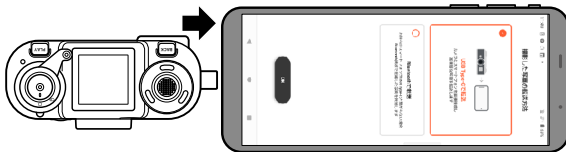
撮影した画像は、スマートフォンアプリに転送することができます。本機をスマートフォンのType-Cケーブル接続部に直接差し込むか、ペアリングして転送することができます。USB Type-Cケーブルが使用できないスマートフォンは、アプリを操作して転送してください。

USB Type-C接続でスマートフォンに転送する

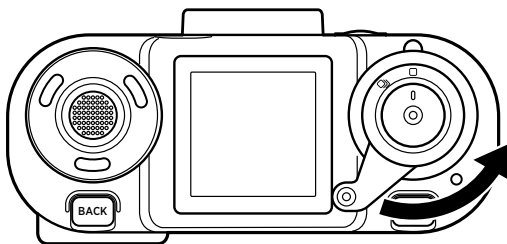
- 1 アプリを起動して、[転送方法を選択] をタップする



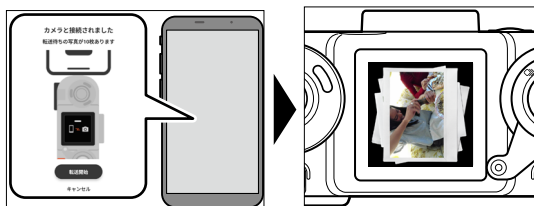
- 2 カメラとスマートフォンを接続する



- 3 アプリの画面で [USB Type-Cで転送] を選び、カメラのレバーを回す



液晶モニターに以下の画面が表示されると、画像の転送が始まります。



スマートフォン画面

液晶モニター

カメラの液晶モニターに [転送完了] と表示されれば、転送は終了です。

ご注意

Android端末ではUSB Type-Cケーブル接続時に「USBデバイス用のアプリ」を選択する必要があります。初回接続時に以下の手順を実行してください。

- 1 スマートフォンの画面上部から下にスワイプして通知を表示する



- 2 「FI054(本機を指します)と接続しました」という項目を選択する。

(機種によっては、手順3の画面が表示されます)



- 3 USBデバイス用アプリの選択画面で、[INSTAX Pal] を選ぶ



ご注意

内蔵メモリーがいっぱいになると、シャッターが切れず、撮影できません。静止画/instax Animation™を転送または削除するか、メモリーカードを使用してください。

ご注意

初期設定では、撮影した画像をアプリに転送すると、カメラ側のデータは消えます。撮影データをカメラに残したい場合は、アプリで設定を変更することができます。詳しくは、製品ホームページをご覧ください。

ご注意

メモリーカードにアプリ転送前の撮影データが残っている状態で、メモリーカードの取り出し、交換をしないでください。撮影データをアプリに移行できなくなります。なお、撮影したデータはメモリーカード内に残っているため、PCなどに転送することは可能です。

撮影データについて

Bluetoothで転送する

- 1 アプリを起動する
- 2 カメラとスマートフォンをペアリングする
詳しくは、13 ページの「ペアリング設定」を参照してください。すでにペアリングを行っている場合は、次の手順に進んでください。
- 3 アプリの画面で、**【転送方法を選択】** をタップする
- 4 **【Bluetooth で転送】** を選び、**【OK】** をタップする



画像の転送が始まります。

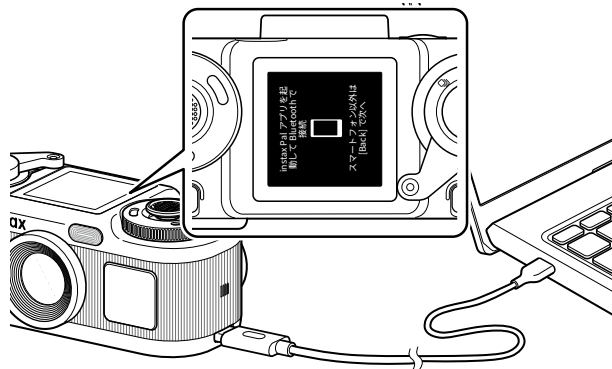
アプリの画面に、撮影済みの画像が表示されれば、転送は終了です。

ご注意

初期設定では、撮影した画像をアプリに転送すると、カメラ側のデータは消えます。撮影データをカメラに残したい場合は、アプリで設定を変更することができます。詳しくは、製品ホームページをご覧ください。

PC 接続時のご注意

- 撮影した画像をPCに転送することができます。付属の USB Type-CケーブルでPCと接続してください。本機をPCに接続すると「外部接続機器」として認識されます。PC側から本機にアクセスして、画像をコピーすることができます。
- PCに接続しているときは、本機の機能は使用できません。また、PC内の画像を本機に転送することもできません。
- PCに接続すると、液晶モニターに下記の画面が表示されるので、戻るボタンを押してください。



ご注意

メモリーカードにアプリ転送前の撮影データが残っている状態で、メモリーカードの取り出し、交換をしないでください。撮影データをアプリに移行できなくなります。なお、撮影したデータはメモリーカード内に残っているため、PCなどに転送することは可能です。

設定メニュー

設定メニューの操作と項目

設定メニューから各種設定の変更ができます。

撮影メニュー

- 1 撮影画面でセレクトキーを押す
メニューが表示されます。
- 2 セレクトキーを左右に動かしてメニューを選ぶ



- 3 項目を選ぶ
各項目については、「撮影メニューの項目」、「カメラ設定の項目」を参照してください。
- 4 設定を変更する
- 5 セレクトキーを押す
設定が反映され、元の画面に戻ります。

■撮影メニューの項目

プリント

近くにある instax™ スマホプリンターもしくはハイブリッドインスタントカメラを検索して、プリントすることができます。セレクトキーを押したあと、表示される画面の指示に従ってください。

フラッシュ

フラッシュの設定を変更します。
[オートフラッシュ] / [強制発光] / [発光禁止] から選びます。

セルフタイマー

セルフタイマーの設定を変更します。
[10秒] / [2秒] / [OFF] から選びます。

AF補助光

[ON] を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間 AF 補助光が発光し、暗い被写体のピントを合わせやすくします。

露出補正

コマンドダイヤルを時計回りに回す、またはセレクトキーを右に押すと、「+」側に露出が補正され、画像全体を明るくできます。コマンドダイヤルを反時計回りに回す、またはセレクトキーを左に押すと、「-」側に露出が補正され、画像全体を暗くできます。

顔検出

顔検出を [ON] にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。

表示モード

撮影中に表示する画面を変更することができます。[エフェクトモード] または [ライブビューモード] のどちらかを選びます。

撮影画像サイズ

撮影画像サイズの設定を変更します。
[10MP] を選ぶと、3776 × 2832 ピクセル、[1MP] を選ぶと 1280 × 960 ピクセルの写真を撮影できます。

■カメラ設定の項目

自動電源OFF

カメラを操作しなかったときに、自動で電源が切れるまでの時間を設定します。[5 分]、[2 分]、[OFF] から選べます。

言語/LANG.

液晶モニターに表示する言語を設定します。

日時設定

日付と時刻を設定します。

シャッター音量

シャッター音量を3段階に変更できます。
コマンドダイヤルを回す、またはセレクトキーを左右に動かして設定します。

操作音量

起動の音量や操作時の音量を OFF、または3段階に変更できます。
コマンドダイヤルを回す、またはセレクトキーを左右に動かして設定します。

プリント画質モード

従来画質の [instax-Natural Mode]、または色彩表現が豊かな [instax-Rich Mode] (工場出荷時の設定) に設定します。

日付書き込み

画像に日付を書き込みます。画像に書き込まれた日付を消したい場合は、[OFF] を選びます。

Bluetooth設定

[ペアリング登録]:
お使いの機器と初めて Bluetooth で接続する場合は、機器同士をペアリングする必要があります。ペアリングについては、「ペアリング設定」をご覧ください。(13 ページ)
[ペアリング削除]:
ペアリング登録されている機器の情報を削除できます。
[情報表示]:
ペアリング登録されている端末を表示します。

設定メニュー

フォーマット

カメラの内蔵メモリーまたはカードスロットに挿入されているメモリーカードを初期化します。保存されている静止画 / instax Animation™ はすべて削除されます。

リセット

設定値を工場出荷時の設定に戻します。
日時設定で設定した日付と時刻はリセットされません。

バージョンアップ

■ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアのバージョンアップは、2 通りの方法で行うことができます。PC 経由でバージョンアップする場合は、あらかじめメモリーカードを用意してください。

●スマートフォンアプリ「instax Pal™」から行う

1. スマートフォンアプリ「instax Pal™」を起動する
2. 設定メニューの「本体のバージョンアップ確認」をタップする
3. [OK] をタップする
4. 画面の指示に従って操作する

●カメラ本体から行う

1. PC など富士フィルムのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードして、メモリーカードのルートディレクトリーにコピーする
2. ファームウェアをコピーしたメモリーカードをカメラのカードスロットに挿入する
3. 設定メニューから「バージョンアップ」を選ぶ
4. 画面の指示に従って操作する

認証

各種認証を確認できます。

再生メニュー

1 再生画面でセレクトキーを押す

再生メニューが表示されます。

2 項目を選ぶ



再生メニュー

各項目については、「再生メニューの項目」を参照してください。

3 表示された内容を確認する

画面の指示に従って操作してください。

■再生メニューの項目

プリント

近くにある instax™ スマホプリンターもしくはハイブリッドインスタントカメラを検索して、プリントすることができます。セレクトキーを押したあと、表示される画面の指示に従ってください。

情報表示

撮影時の設定値などが表示されます。

画像コピー

静止画 / instax Animation™ を内蔵メモリーからメモリーカードへ、またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。

以下の手順で行います。

1. 再生メニューから「画像コピー」を選ぶ
2. コピー元とコピー先を選び、セレクトキーを押す
3. [1 コマ]、[全コマ]、[複数コマ] のいずれかを選び、セレクトキーを押す
4. [1 コマ] を選んだ場合は、コピーしたい静止画 / instax Animation™ を選び、[OK] を選んでセレクトキーを押すと画像がコピーされます。
[全コマ] を選んだ場合は、[OK] を選んでセレクトキーを押すと、コピーが開始されます。
[複数コマ] を選んだ場合は、コピーしたい画像を選び、再生ボタンを押します。確認画面で [OK] を選んでセレクトキーを押すと、選択した画像がコピーされます。

「画像コピー」は、メモリーカードが挿入されていないときは選ぶことができません。

消去

内蔵メモリーまたはメモリーカードの静止画 / instax Animation™ を消去します。

以下の手順で行います。

1. 再生メニューから「消去」を選ぶ
1 枚だけ消去する場合は、消去したい静止画 / instax Animation™ を再生画面に表示してください。
2. [1 コマ]、[全コマ]、[複数コマ] のいずれかを選び、セレクトキーを押す
3. [1 コマ] を選んだ場合は、[OK] を選んでセレクトキーを押すと画像が消去されます。
[全コマ] を選んだ場合は、消去するメディアを選び、[OK] を選んでセレクトキーを押すと、選択したメディア内の画像がすべて消去されます。
[複数コマ] を選んだ場合は、消去したい画像を選び、再生ボタンを押します。確認画面で [OK] を選んでセレクトキーを押すと、選択した画像が消去されます。

アプリについて

スマートフォンアプリ連携で使える機能

スマートフォンアプリ「instax Pal™」と連携すると以下の機能が使用できます。



■ギャラリー機能

カメラで撮影した静止画やinstax Animation™を、USB Type-Cケーブルや、Bluetoothを使ってスマートフォンアプリへ転送できます。転送した静止画やinstax Animation™はアプリ内のギャラリーで閲覧したり、スマートフォン内に保存することができます。

■エフェクト切替

カメラに搭載するエフェクトを切り替えることができます。

■プリント

instax™スマホプリンターもしくはハイブリッドインスタンタカメラと接続することで、アプリ内ギャラリーの画像をプリントすることができます。

■リモート撮影

セルフタイマーをスマートフォンアプリで設定して、リモート撮影できます。

スマートフォンアプリを設定する

ペアリング登録する前に、ご使用のスマートフォンに「instax Pal™」アプリをインストールしてください。

- Android OS のスマートフォンをご使用の場合は、Google Play から「instax Pal™」を検索し、インストールしてください。

- * Android OSのスマートフォンの動作環境： Android Ver 12以上、かつGoogle Playがインストールされている

- iOS のスマートフォンをご使用の場合は、App Store から「instax Pal™」を検索し、インストールしてください。

- * iOSのスマートフォンの動作環境： iOS Ver 17以上
スマートフォンの機種によっては、スマートフォンアプリをインストールし、上記の動作環境を満たしている場合でも、使用できない場合があります。



iOS



Android OS

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- 1 あらかじめ端末にダウンロードしたアプリ「instax Pal™」を起動する
- 2 写真やメディアにアクセスする確認事項をご確認いただき、[許可]をタップする
- 3 利用規約をご確認いただき、[同意する]をタップする
- 4 利用地域を選んで、[OK]をタップする
国内で使用する場合は、[上記以外の地域]を選びます。
- 5 プライバシーポリシーをご確認いただき、[同意する]をタップする
- 6 [instax Pal 2] をタップして、接続するカメラを選び、[OK] をタップする
- 7 [Bluetooth 接続設定へ] をタップする
- 8 [許可] をタップする

9 お使いのカメラが検出されたら、[接続] をタップする

複数のカメラが検出された場合は、接続したいカメラを一覧から選択してください。

カメラの識別名（SSID）は、カメラの底面に記載されています。

10 [次へ] をタップする

11 簡易使用説明が表示されるのでお読みいただき、[OK] をタップする

アプリの準備が完了します。

その他の情報

仕様

■カメラ機能

撮像素子	1/3.06型CMOS原色フィルター
記録画素数	10MPモード： 3776 × 2832 ピクセル 1MPモード： 1280 × 960 ピクセル
記録メディア	内蔵メモリー、microSD/ microSDHC/microSDXC (～2TB) メモリーカード
記録枚数	10MPモード時： 内蔵メモリー約100枚、 microSD/microSDHC/ microSDXC メモリーカード 1GB あたり約400 枚 1MPモード時： 内蔵メモリー約100枚、 microSD/microSDHC/ microSDXC メモリーカード 1GB あたり約3400 枚
アプリ未接続時撮 影上限枚数	100枚
記録方式	JPEG (DCF準拠 Exif Ver.2.3)
焦点距離	f=28mm (35mmフィルム換算)
絞り	F2.2
オートフォーカス	シングルAF、顔認識AF
撮影可能距離	8 cm ～ ∞
シャッタースピー ード	1/4秒 ～ 1/8000秒 (自動切換え)
撮影感度	ISO100 ～ 1600 (自動切換え)
露出制御	プログラムAE
露出補正	-2.0EV ～ +2.0EV (1/3EVステップ)
測光方式	TTL256分割測光、マルチ測光
ホワイトバランス	自動
フラッシュ	オート/強制発光/発光禁止 撮影可能範囲 約60 cm～1.5 m
セルフタイマー	約10秒/約2秒
ズーム	なし

■その他

スマートフォンア プリ連携機能	カメラ搭載エフェクト切替機能、リ モート撮影機能、静止画/instax Animation™転送機能、バージョン アップ機能
液晶モニター	1.30型TFTカラー液晶モニター 画素数：約17万ドット
外 部 イ ン タ ー フェース	USB Type-C
Bluetooth®	Bluetooth® Ver. 5.3 (Bluetooth® low energy)
電源	リチウムイオン電池
消費電力	電源オフ時： 約0.1W
自動電源オフ機能	5分/2分/オフ ※自動電源オフ機能をオフにすると、 本製品の消費電力が増加します。
充電時間	約2 ～ 3時間 *気温によって異なります。
本体外形寸法	37.0 mm × 42.0 mm × 92.3 mm (突起部除く)
本体質量	約87 g
動作環境	温度： 5℃ ～ 35℃ 湿度： 20% ～ 80% (結露しないこ と)
プリント連携	instax mini Link™ instax mini Link 2™ instax mini Link 3™ instax mini Link +™ instax SQUARE Link™ instax Link WIDE™ instax Link WIDE 2™ instax mini Evo™ instax mini Evo Cinema™ instax mini LiPlay™ instax mini LiPlay +™ instax WIDE Evo™
撮影フォーマット	instax™ mini instax™ SQUARE instax™ WIDE フレームなし (4:3)
転送データ画素数	USB: 3776 × 2832 ピクセル Bluetooth: 1280 × 960 ピクセル
画像転送時間	USB: 約0.75 秒/枚 Bluetooth: 約15 秒/枚

* 上記の仕様は、性能向上のため変更する場合があります。

このようなときは

故障とお考えになる前に、以下の項目をお調べください。処置を行っても改善されない場合は、弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。

または下記のウェブサイトにごアクセスしてください。

富士フイルムホームページ： <https://fujifilm.jp/>

使用中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因と対処法
電源が入らない。	バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
バッテリーの消耗が早い。	非常に寒い所でカメラを使用していると、バッテリーの消耗が早くなります。撮影前にカメラを温かくしておいてください。
使用中に電源が切れた。	バッテリー残量が少なくなっている可能性があります。カメラを充電してください。
充電が始まらない。	USB 電源アダプタのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
充電が始まらない。(長期間未使用時の場合)	数ヵ月放置すると、バッテリーが完全に切れた状態になっている可能性があります。USB ケーブルを抜いて電源オン / オフを行ってください。それでも充電が始まらない場合は、カードスロットカバーを開けてリセットボタンを押してから、充電してください。 ※リセットボタンを押すと内蔵メモリのデータが消えることがあります。 判断が付かない場合は巻末の「富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口」までお問い合わせください。
充電に時間が掛かりすぎる。	低温時は、充電に時間が掛かる場合があります。
充電中に充電ランプが点滅する。	周囲の温度が + 5℃ ~ + 35℃ の範囲で充電してください。この範囲でも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

このようなときは	考えられる原因と対処法
シャッターボタンを押しても撮影できない。	- 電源が入っているか確認してください。 - バッテリー残量が少なくなっている場合は、充電してください。 - 内蔵メモリまたはメモリーカードがいっぱいになっている場合は、新しいメモリーカードを入れるか、不要な静止画 / instax Animation™ を削除してください。 - 本機でフォーマットしたメモリーカードを使用してください。 - メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れている場合は乾いた柔らかい布でふいてください。 - メモリーカードが壊れている可能性があります。新品のメモリーカードを入れてください。
静止画撮影時にピントが合わない。	ピントが合いにくい被写体を撮影する場合は、AF/AE ロックを使用して撮影してください。
フラッシュが発光しない。	フラッシュの設定で発光禁止が選ばれていませんか。発光禁止以外の設定を選んでください。
フラッシュが発光したのに、画像が暗い。	- 被写体から離れすぎていませんか。フラッシュ撮影が可能な距離内で撮影してください。 - フラッシュを指などで塞がないよう、カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	- レンズに指紋などの汚れが付いている場合は、レンズを清掃してください。 - AF フレームが緑色になっていることを確認して撮影してください。
カメラが正常に作動しない。	- 一時的に誤作動を起こしている可能性があります。リセットボタンを押してください。それでも正常に作動しない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。 - バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
カメラが動作不具合を起こし、電源が切れない。	microSD カードスロットの横にあるリセットボタンを押すと、電源を切ることができます。

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⚠ 以下のような場合は、直ちにUSBケーブルを外すとともに、電源を切ってカメラの使用を止め、お客様相談窓口、販売店にご相談ください。そのまま利用を続けると、発熱・発火の原因になることがあります。
 - ・カメラが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が発生したとき
 - ・カメラを水中に落下させたり、内部に水または金属や異物などが入ったとき
- ⚠ カメラにはバッテリーが組み込まれているので、加熱や火中への投入、落としたり、衝撃を加えないでください。破裂の原因となる場合があります。
- ⚠ 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となる場合があります。
- ⚠ カメラをめれた手で触らないでください。感電の原因となる場合があります。
- ⚠ 小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因になる場合があります。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- ⚠ 絶対に分解しないでください。けがの原因となる場合があります。
- ⚠ 故障した場合は、絶対に自分で修理しようとせず、お買い上げ店にご相談ください。
- ⚠ 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。けがの原因となる場合があります。
- ⚠ 充電が完了したら速やかにUSB Type-Cケーブルを外してください。
- ⚠ 本製品を布や布団でおおったりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因になる場合があります。



このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。（CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

取扱上のお願

■ カメラの取り扱い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
2. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。
3. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
4. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
5. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
6. このカメラの使用温度範囲は+5℃から+35℃です。
7. 撮影される場合は、著作権、肖像権、プライバシーなどの他人の権利を侵害したり、公序良俗に反したりしないように十分で配慮ください。他人の権利を侵害する行為、公序良俗に反する行為や迷惑行為は、法令による処罰の対象や損害賠償請求の対象となります。
8. このカメラは一般のご家庭向けのものです。業務用の撮影など、大量に撮影する用途には適しておりません。

■ 液晶モニターの取り扱い

液晶モニターは傷がつきやすいので、硬いものでこすらないように注意してください。傷を防止するために、市販の保護シートを貼ることをお勧めします。

■ 充電について

バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

- ・付属のUSB Type-Cケーブルを使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が+5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。

■ 使用上のご注意

長時間使用していると、カメラ本体が熱を帯びますが、故障ではありません。

その他の情報

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

VCCI-B

■ 本製品が取得している認証関連のマークは、本体各所および液晶モニター内のメニューに表示されています。

電源仕様 (Power Supply Specification)

■ 消費電力

電源オフ時: 約0.1W

スタンバイモード時: 約0.4W

■ 自動電源オフ機能

5 分 / 2 分 / オフ

※ 自動電源オフ機能をオフにすると、本製品の消費電力が増加します。

Bluetooth® 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されているBluetoothをご使用になる前に必ずお読みください。

■ 本製品はBluetooth機器としてお使いください。

Bluetooth機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。Bluetooth機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ Bluetooth機能はお買い求めいただいた国での利用を前提としています。

本製品のBluetooth機能はお買い求めいただいた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使いいただく国の法律を順守してください。お買い求めいただいた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度

が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。最大出力は約3.06mWです。

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- ・産業・科学・医療用機器
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

1. 構内無線局（免許を要する無線局）
2. 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

■ 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- ・本製品を分解、または改造すること
- ・本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 商標について

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

■ 本機の無線方式について

2.4 XX 1

2.4：2.4GHz帯を使用する無線設備

XX：その他の変調方式

1： 想定干渉距離が10m以内

： 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

カメラを廃棄するときの注意

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクルできます。

本機が不要になりましたら、リチウムイオン電池は商品廃棄時に取り出し、一般ゴミなどと一緒に廃棄はせず、充電式電池の排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。

小形充電式電池のリサイクルについて



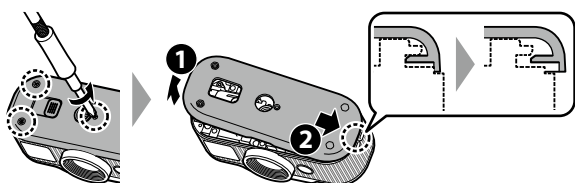
小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

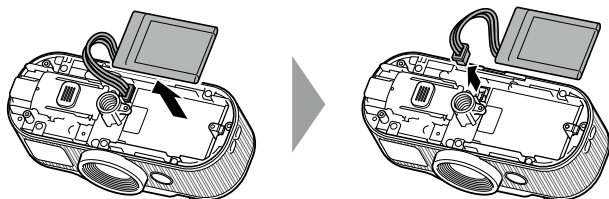
本機を廃棄するときは

本機を廃棄するときは、本機からバッテリーを取り出し、排出協力店・自治体の指示に従い廃棄してください。

1 ドライバー（市販品）を使って、底面カバーを開ける



2 バッテリーを取り出し、コネクタを外す



アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。

ご購入店または富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお申し出ください。

それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口をご利用ください。

■ 無料修理

故障した製品については、ご購入年月日、購入店名の記入されたご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

* 詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

■ 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

■ 修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

■ 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
5. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
6. 修理期間は故障内容により多少異なりますが、普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

その他の情報

■ 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、帰国された後、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

- 本製品に関するお問い合わせ
富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口
0570-04-1640



- 修理に関するお問い合わせ
富士フィルム フィルムカメラ修理相談窓口
0570-06-6092



- ▶ お問い合わせに関する最新情報などは弊社ホームページ（QRコードよりアクセス）でご確認ください。
- ▶ 富士フィルムグループでは、お客さまからのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていただくことがあります。

最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。
富士フィルムホームページ: <https://www.fujifilm.com/jp/ja>

FUJIFILM, instax, instax Pal 2, instax Animation, instax mini Link, instax mini Link 2, instax mini Link 3, instax mini Link +, instax SQUARE Link, instax Link WIDE, instax Link WIDE 2, instax mini Evo, instax mini Evo Cinema, instax mini LiPlay, instax mini LiPlay+, instax WIDE Evo は富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。

Independent JPEG Group ライセンス

本ソフトウェアの一部は Independent JPEG Group の著作物に基づくものです。

© 2026 FUJIFILM Corporation. All rights reserved.

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN